

3. 企画展示事業（平成26年度の展覧会）

（1）第64回企画展「戦争と大津」の結果について

1. 会 期 平成26年7月19日（土）～8月31日（日）[38日間]
2. 会 場 大津市歴史博物館 企画展示室B
第2会場「戦争と大津―銃後の市民生活―」（常設展示室ミニ企画展コーナー）
3. 主 催 大津市・大津市教育委員会・大津市歴史博物館・京都新聞
4. 後 援 NHK 大津放送局、BBCびわ湖放送、FM滋賀
5. 観覧料 一般 400円（320円）、高大生 300円（240円）、小中学生無料
6. 展示資料 150点
7. 入館者数 4,596人
有料観覧者数 2,338人
総入場者のうち小中学生（無料）1,103人
8. 関連講座 8月2日（土） 滋賀の戦争遺跡
講師：中井 均（滋賀県立大学教授） 参加人数 89人
8月9日（土） 戦前から戦後の学校教育
講師：樋爪 修（当館館長） 参加人数 34人
8月16日（土） 大津海軍航空隊跡を訪ねる（現地見学会）
講師：樋爪 修（当館館長） 参加人数 46人
9. 図録販売数 A4版36頁オールカラー600円 248冊（10月末時点）
10. 展覧会の成果と問題点
 - （1）広報面。7月から8月は各新聞社・テレビ局が戦争関係の記事を取り扱う時期にあたっているため、本展の関係記事も多数報道された（今年は例年より多くの取材があった）。これらの報道が本展の来館者増につながったものと考えられる。
 - （2）今回は戦後の教育改革、とくに新制中学校も展示の対象としたため、中年層の来館者も多く、木造校舎、旧校舎の写真などの前では思い出話をお子さんにされる方が目立った。
 - （3）企画展として戦争を扱ったのは、平成21年度開催の「戦争と市民」以来であり、その間は小規模なミニ企画展として開催していた。その関係からか、今回の企画展は市民の皆さんが期待されていたらしく、アンケートには、もっと多くの資料を展示してほしい、期待はずれという声も、少数だが見られた。
 - （4）戦争中や戦後の教育についての体験を会場内で語って下さった方も多く、それらについては、別途インタビューとビデオ収録をお願いし、現在その事業に取り掛かっている。
 - （5）小学生高学年のアンケートは内容が理解できたという意見が多かったが、おそらく低学年なのか、難しいとの意見もあった。今回は、キャコピーや注目点などのキャプションを用意しなかったことが影響していたと思う。その点が今後の反省点。
 - （6）戦争の背景についてはミニ企画展（第2会場）で取り上げたが、来館者の期待が広範囲に渡るため、その期待には添えていない。ただ限界有り。

11. アンケートに寄せられたご意見（抜粋）

●小中学生（原文のまま）

- ・いろいろなことがわかって戦争に興味が深くなりました。
- ・いろいろなさくひんがとてもすごかったです。もちろんえやおにんぎょうもすごかったです。
- ・多くの人が見るように毎年展示してほしい。（小学生と70歳代女性、祖母か）
- ・分かりやすい書きかたの説明文がヨカッタデス。パチパチ。これからもがんばって下さいな。
- ・ポスターに「青い目の人形」の写真がのってあったので興味をもちました。私は今、市民ミュージカル「青い目の人形メリー」に参加しているので、役づくりの参考のため見ていましたが、戦時中の事やその時子供たちはどんな思いだったのか心の中にひびいてきて胸がいたむ思いで拝見させていただけたので、とも良い勉強になったし、役づくりにも生かしていけると思っています。こういった経験を通して私たちが大人になってからでも、後世に伝えていけたらと思います。（中学生）
- ・茶わん→何でつぶれてないんだろう。人形→よごれてるみたいだけどちゃんと残ってるね。（小学生、文字は母親の代筆か）
- ・説明がとても分かりやすくて新聞を書くのが楽になりました。ありがとうございます。宿題の戦争新聞がうまくかけそうです。ありがとうございます。（ともに小学生）
- ・もう少し子供にも分かりやすいコーナーがあればよかったです。

- ・平和のありがたみを感じました。
 - ・説明がもう少し簡単にしてほしいです。
 - ・すごく戦争のくるしかったのがわかった。
 - ・せんそうはすごくこわいと思いました。
 - ・私は夏休みの宿題で新聞をかくので、色々調べてみたいと思ってきました。今日ここへ来て、滋賀の大津は戦争にとっても深く関わっているのだということをたくさん知りました。特に私が興味を持ち感心したのは絵日記です。私は瀬田小学校なので、同じ瀬田小学校があんな状態になっているということに、とてもおどろきました。そして戦争をして同じことをくり返さずに、平和な世の中になったらいいなと改めて思いました。そのためにこれからも戦争についてどんどん知りたいと思いました。
 - ・すごく昔の教科書などがみれて良かったです。
 - ・学校で戦争のことをべんきょうするので少しでもさんこうになるかなと思ってきました。とてもさんこうになってよかったです。
 - ・もう少し詳しく説明があると思って見に来たが気たいはずれで残念でした。(小学生、コメントは母親か)
 - ・もう少し多く展示してほしい。
 - ・瀬田国民学校の女の子が書いた絵日記の事をTVで見て実際に見れてよかった。(10歳)
 - ・パンダーをかりれるのがすごく便利でよかった。文字の大きさもちょうどいい大ききでみやすかった。小学生にも分かりやすかった。
 - ・戦争のおそろしさ、戦争がどれだけ起ってはいけないかと思った。
 - ・今回、さいしょの時、手前の青い目の人形で人が集まっていた、文集が見えなかったのが、なにかくふうがほしい。
 - ・自分の中学校の日吉中学校のことがあって、そのことがわかったのでよかった。
 - ・毎年来させて頂いています。子どもたちに平和であることの有難さや大事さを伝えていくことは、親(大人)の義務だと考えます。来年もまた家族で来たいと思います。一緒に記入しました。(小学生と母親)
- その他
- ・戦争関係の展示は常に日本が被害者のように取り扱われている。加害者としての視点も必要ではないでしょうか(50代女性)
 - ・このように隠れた史実があったのを知って興味深かった(40代女性)
 - ・この時代のことがわかりやすく展示してあり、いろいろと考えることができた。あたりまえの平和ありがたいものだと感じた。来てよかった(40代女性)
 - ・多くの人に見てもらいたい。子どもたちや平和ボケしている人が考えるきっかけとなる展覧会だと思う(28歳)
 - ・青い目の人形の展示がすばらしいです。ミニ企画展の防空訓練、召集令状、死亡告知書などよく保管されていたもの。衣料切符は話は聞いていたが実物を見れてよかった(50代女性)
 - ・よくこれだけの資料をお集めになられたことに敬意を表します(70~80代男性)
 - ・大津市のすべての小中学生がこの展示を見て学んでくれたらと思う(30代男性)
 - ・図録の瀬田国民学校絵日記の写真が小さくて文字が見えないのが残念。企画展は大変意義が深くすばらしいもの。広島へ学習に行くのもよいが、大津で平和学習を大人へも子どもへも継続していきましょう(40代女性)
 - ・学校の様子がよくわかりました。小中学生には少し難しいのではないかと思います。ありがとうございます。(50代男性)
 - ・とてもよい企画ですね。戦時の暮らし、特に子供の暮らしがよくわかります。(60代女性)
 - ・昭和2年生まれの方は自分の歴史をみてるようで感無量。胸に迫るものがありました。(80代女性)
 - ・子どもの夏休みの宿題に「平和について考える作文」というのがあり、連れてきました。今の子どもたちには想像もできない、またテレビや本でも目にすることがどんどん少なくなっている時代の話だと思いますが可能な限り語り継いでいかなくてはならないと思いました。(40代女性)
 - ・滋賀県の人たちが人形もふくめていろいろと残しておられたのに感心しました(70代女性)
 - ・疎開先で正座で食事する写真、「兵隊さんのおかげ」の絵日記など、子どもの感謝の気持ちが伝わってきました。もっと小さな子供さんにもみてもらいたいのので、映像をテレビで流してもらえると分かりやすいのではないのでしょうか?勉強になりました。
 - ・子どもをとりまく環境をとり上げることで戦争の残酷さが際立って伝わっていたと思います(30代女性)
 - ・地域と密着した企画であり、住民参加型の企画と思いました。地域に役立つ博物館となっていると感じました。(40代女性)
 - ・子どもと来場しました。小学6年生の夏休みの宿題、平和学習の資料集めの参考になり、大変良い企画だったと思います。
 - ・この企画展に現代の学校関係者がより多く来館する事が必要と感じた。また思ったより子供達が多く来館していたので、この企画が有意義であると感じた。

- ・日本近代史が専攻なのでとても興味を持って見ることができました。(30代男性)
- ・戦後に大津市内にアメリカの駐留地があったことをはじめて知った。(40代男性)
- ・大変勉強になりました。わかりやすく説明されていてとてもよかったです。来たかいがありました。(20代女性)

●ご要望

- ・2会場ではなく、企画展示室Aで一括してほしい。(50代男性)
- ・戦時の被害状況と人々の動き、生活について知りたかった。もっと生々しい情報がほしい。(40代男性)
- ・内容が大津市にかたよっていて、日本全体の戦前・戦中・戦後の内容がなかなか理解しづらかった。(40代女性)
- ・展示というものだけではなく、実際に戦争体験をされた方から直接、今の子供たちに話を聞かせる機会があればと思った。(40代)
- ・もう少し大津市の戦時中の状況を期待して来たが期待はずれ。堅田、瀬田、能登川は馴染みがうすい。入場料を払ってみる企画展ではナイ。(81歳)
- ・空襲のこと、なぜ展示がないのでしょうか。大津周辺他。(70代男性)
- ・戦時中の街の様子などがもっと知りたかった。(40代男性)
- ・戦争体験者の実話を講堂で聴きたい。(50代男性)
- ・常設展示にしてほしいくらいだ。もっとマスコミで宣伝せなあかん。(50代男性)
- ・小学校の孫と一緒に来ましたが、もう一つ理解できないような所がありましたので、私が口頭で説明を加えました。今との違い等が解れば良かったのではないかと思います。例えば、教科書の中身(教えられている内容等)(70代女性)
- ・滋賀大学附属小中学校の資料も展示してほしい。(40代男性)
- ・ニンテンドーDS電子ナビゲーションを企画展でも使えるようにしてほしい。(48歳男性)
- ・激動の時代と子どもたちのサブタイトルが示す着眼点に脱帽！もっと欲を言わせていただくなら、戦後についても「子どもの視点」がほしい。巻きこまれて一番メイワクなのは誰よりも子どもたちだと思います。(30代女性)
- ・小学校教員をしています。子どもたちにぜひ見て学ばせたい企画展でした。学校のある時期にも開催していただけたら校外学習でも連れて来られたかなと思いました。(30代男性)
- ・「墨塗り教科書」は書いてあったが、「新憲法」や文科省発行の「あたらしい憲法のはなし」にはふれていなかった。(70代男性)
- ・貴館のこの一連の企画については、本当に頭が下がる思いです。この類の企画には御苦労があると想像しております。ただ一点とても気になることがあります。それは教師に対して「先生」という尊敬語を使っている点です。民主主義の大切さを主張するための企画展において、公僕たる公務員に対し、敬語を使うのは全く考えられません。教育委員会の通例であることはよく存じておりますが、教師と生徒は公平であるべきです。この差別は戦争につながる思想だと思います。次回以降の御検討をぜひお願いします。(40代男性)